

項目	取組内容	平成27年度以降の目標と進捗状況	課題と今後の方向性
4-(2)-ア 博物館	<ul style="list-style-type: none"> 「地方独立行政法人化に向けた基本プラン（素案）」の改定に向け、経済波及効果など経営形態見直しによるメリットのさらなる検討・調査を実施 市会の指摘を踏まえ、経営形態の見直しは、大阪の文化の発展と都市魅力の向上に向けた施設の魅力向上を図るうえで最適な経営形態という観点から検討すべきとの考えから、博物館がめざすべき姿とその実現に向けた取組を「大阪市ミュージアムビジョン」として定めるべく、検討に着手 	<p>【目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> 地方独立行政法人の設立 <p>【進捗状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「大阪市ミュージアムビジョン」の検討に着手 	<ul style="list-style-type: none"> 平成28年度には、博物館がめざす姿とその実現に向けた取組を、外部有識者の意見も踏まえながら「大阪市ミュージアムビジョン」として策定する ビジョン実現に最適な経営形態について、地方独立行政法人化を軸に検討を深め、広く市民の理解を得たうえで、基本プランを策定する
4-(3)-ア 一般廃棄物 (収集輸送)	<ul style="list-style-type: none"> 平成27年4月から北部環境事業センターにおける委託品目の拡充 平成27年度に実施した民間委託化の拡大による影響の検証（市民サービスへの影響、効率化等） 平成28年度以降に実施する民間委託化の拡大に向けた具体策等の検討 市会での指摘・議論の検証 <ul style="list-style-type: none"> ①市民サービスへの影響（特に災害時の対応） ②委託化の手法としての「業務区分単位」と「センター単位」のメリット・デメリット ③「給与保障を前提とする職員転籍の手法」を選択することによる経費削減効果への影響（消費税の影響等） 上記①②③を踏まえ新たな経営形態に向けた検討 	<p>【目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> 民間委託化の早期拡大を図る <p>【進捗状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> 全市の粗大ごみ収集に加え、平成27年4月から北部環境事業センターにおける資源ごみ収集、容器包装プラスチック収集及び古紙・衣類収集について、民間委託を実施した 民間委託化の早期拡大をめざして、市会での指摘・議論を引き続き検証中 	<ul style="list-style-type: none"> さらなる民間委託化の拡大については、スピード感をもって対応していく必要がある 平成28年度については、早期退職の特例制度等の活用を図りながら職員数を削減し、民間委託の範囲を拡大して、はじめて普通ごみ収集まで踏み込み、北部環境事業センターにおける家庭系ごみ収集全般について民間委託化し委託状況の検証を行う 引き続き、早期退職の特例制度を活用するなど職員数を削減するとともに、他の環境事業センターの民間委託化を推進していく さらなる改革を推進していくため、今後の廃棄物行政の展望も視野に入れて、既存の枠組みを越えた改革方策について検討を進める
4-(3)-イ 弘済院	<ul style="list-style-type: none"> 附属病院建替の財源確保のため、敷地内の用地の一部を売却 	<p>【目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> 認知症対応にかかる専門的な医療・介護機能の民間移管 <p>【進捗状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> 弘済院の特性を活かした新たな構想の策定に向け検討中 附属病院建替のさらなる財源確保のため、敷地内の用地の一部売却について調整中 	<ul style="list-style-type: none"> 認知症医療と介護が一体となってその機能を発揮できるよう、各施設の役割・連携等を踏まえた弘済院全体の構想を平成28年度中に策定する 附属病院については、現地建替え、事業継承に向け、関係機関と調整を行い、特別養護老人ホームについては、病院のあり方、方向性と合わせて検討していく